

第9回自然科学研究機構若手研究者賞を受賞

本研究所ヘリカル研究部高密度プラズマ物理研究系の本島 厳准教授が、「核融合定常プラズマ維持を目指した粒子バランスとその制御に関する研究」にて、第9回自然科学研究機構若手研究者賞を受賞しました。

この賞は、新しい自然科学分野の創成に熱心に取り組み、成果をあげた優秀な若手研究者を対象として、自然科学研究機構が授与しているものです。

安定した核融合プラズマを実現するためには、燃料である水素の制御が重要となります。本島准教授らの研究グループは、強力な極低温真空ポンプを使い、プラズマに戻る水素を減らすことでプラズマの密度をうまくコントロールすることに成功しました。これにより、水素燃料の制御を容易に、かつ安定的に行うための方法が確立されたことが高く評価され、今回の受賞となりました。今後、核融合プラズマ定常維持に向けた研究がさらに進展すると期待されます。

なお、この賞については、6月14日に受賞式と記念講演会が執り行われる予定でしたが、新型コロナウイルス感染症の拡大防止の観点から、中止となりました。

そこで自然科学研究機構ホームページ上にて受賞者の講演動画の特別公開を行いました。講演動画では、本島准教授自ら大型ヘリカル装置（LHD）の真空容器の中に入って研究を紹介しています。現在は、[こちら](#)からご覧になれます。



竹入所長と本島准教授



[こちらのQRコード](#)

核融合科学研究所オープンキャンパス2020のご案内

核融合科学研究所は、9月5日(土)にオープンキャンパス2020を開催します。テーマである「体感！体験！プラズマエネルギー」のとおり、プラズマを中心とした研究の最前線を、施設公開、講演会、科学実験等で分かりやすくご紹介します。本年は、新型コロナウイルス感染症対策のため『オンライン』による新しい形のオープンキャンパスを開催します。(現地での開催はありません。)

イベントの詳細については、随時ホームページ (<https://www.nifs.ac.jp/welcome/2020/>) でご確認ください。

スーパーコンピュータ「プラズマシミュレータ」の愛称決定について

新しいスーパーコンピュータ「プラズマシミュレータ」の愛称公募を2020年1月23日から3月10日の間で実施し、【雷神】(読み方：らいじん)と決定しました。

「プラズマシミュレータ」は世界トップレベルのプラズマ核融合分野専用スーパーコンピュータです。愛称となった【雷神】は日本の民間信仰において雷を司る神を意味しています。雷はプラズマの一形態であり、雷を操る雷神のごとく高温プラズマを自在に制御するための研究を行っている当研究所の、雷光のごとく一瞬の間に膨大な計算を行うことができる同機にふさわしい愛称です。また、【雷神】は俵屋宗達筆の「風神雷神図屏風」などの国宝にも表現されてきた古くからの東洋美術のモチーフであることから、海外の方々からの知名度も高く、日本のスーパーコンピュータの愛称に適しているという理由で、全国からのたくさんの応募(約200件)の中から選考しました。



大学共同利用機関法人 自然科学研究機構

核融合科学研究所 発行

NIFS NEWS

No.254

2020年6,7月号

〒509-5292 岐阜県土岐市下石町322-6
TEL : 0572-58-2222(代) FAX : 0572-58-2601
URL : <https://www.nifs.ac.jp/>
E-mail : nifs-news@nifs.ac.jp

※過去のニュースはホームページにてご覧いただけます。

複写される
方へ

本紙に掲載された著作物を複写したい方は(社)日本複写権センターと包括複写特許契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

一般社団法人学術著作権協会 〒107-0052 東京都港区赤坂9-6-41 乃木坂ビル3F
TEL:03-3475-5618 FAX:03-3475-5619 E-mail:info@jaacc.jp 著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本研究所へご連絡ください。